

■フランス：ドイツ Uniper、フランスに所有する発電設備をチェコの EPH に売却予定

2018年12月27日付の現地専門誌によると、ドイツのエネルギー事業者 Uniper は、子会社の Uniper France がフランスに所有する発電設備を、チェコのエネルギー事業者 EPH に売却予定である。売却する発電設備は、ガス火力2カ所（各40万kW）、石炭火力2カ所（各60万kW）、バイオマス1カ所（15万kW）および、風力6カ所と太陽光2カ所（合計10万kW）。売却が成立するためには、関係者間の協議と監督官庁による承認が必要であるが、EPH は既に、ガス火力2カ所を取得後、フランスの石油大手 Total に譲渡する合意を取り付けている。一方、石炭火力2カ所（ガルダンヌ、サン・タボルド）については、2022年までに閉鎖予定だが、ガルダンヌ発電所はバイオマス発電に、サン・タボルドはガス火力発電に転換される可能性がある。